

平成 25 年度 日本獣医生命科学大学 第 2 回オープンスキルラボ  
「獣医療面接実習」 アンケート結果・実習写真

日時：平成 26 年 3 月 19 日（水）10:30-16:30

参加人数：12 名

麻布大学	2 名	(5 年生 2 名)
日本大学	4 名	(5 年生 2 名、3 年生 2 名)
日本獣医生命科学大学	5 名	(4 年生 1 名、3 年生 4 名)
北里大学	1 名	(5 年生 1 名)

※ 北里大学の学生は、募集人数が定員割れをしたので急遽特別参加した。

<アンケート結果>

対象人数:12 名

今回のコミュニケーション実習にあなたはどれくらい満足していますか？

- 大変に満足 5 名
- 満足 5 名
- 不満 2 名 (後に、実習のどの点が不満であったか問うたところ、実習自体は満足だったが、自らの出来栄えに不満であったとのことでした)

今回の実習に対するコメントは？

- とても良い実習でした。何度でも参加したいので、またこのような機会を与えてくれると嬉しいです。
- 自分が学生の間にもう 1 度セミナー、実習していただきたい実習でした。
- 本人の向き、不向きに関係なく、気をつけることで変わるコミュニケーションスキルの事を教えていただけで良かった。
- 日常だけでなく診療時も話しやすい流れを作る努力がより多くの情報を得るためにも必須のスキルであることを再認識しました。
- 今後ステップアップの講座があったらうれしい。
- 半期に 1 度実施してほしい。対応の難しい患者さんのケースも用意してください。
- とても良い経験ができた。日常生活から気をつけて生活したいと思いました。強いて言えば、冷房が診察室についたらよかった。
- 3 年生から経験できてよかったです。他の症例も体験したいです。
- 私の大学でも模擬クライアントさんが来て実習してほしい。

<実習写真>



実習前に行われた伴侶動物医療コミュニケーションにおける講義  
今回は、他の大学の教員の参加も見られた



模擬面接が始まる前の、スーパーバイザーとのミーティング



模擬クライアントとの面接中  
面接している学生以外は、面接している学生のコミュニケーションスキル  
に関して観察し、後にフィードバックを行った



模擬クライアントとの面接の後は、室内の全員からフィードバックを受けた  
面接とフィードバックは、卓上の iPad にすべて録画され、データは USB メモリにコ  
ピーし、個人に渡された。面接した学生は帰宅後に自らの面接中の画像を見て、自ら  
を第三者の立場で見て「振り返り学習」を行って理解を深める



すべての面接実習が終了した後は、参加者全員とスーパーバイザー全員が、その日の面接実習を振り返った